

高規格道路 新潟山形南部連絡道路

整備が進む「小国道路」

「新潟山形南部連絡道路」（以下、「新山道」と表記）は日本海沿岸東北自動車道と東北中央自動車道に接続する延長約80kmの高規格道路です。本道路は「広域による観光交流の活性化」、「物流・経済流通の向上」、「住民の安心安全と防災ネットワークの構築」など多様な機能を持った路線として整備が計画されています。

平成31年3月には新潟県関川村金丸地内から本町松岡地内までの約12.7km区間の「小国道路」が事業化され、山形県側の起工式が今年11月に大宮地内で実施されました。

今月は着実に整備が進む「小国道路」の現状と、今後の「新山道」の整備計画についてお知らせします。



▲（仮称）小国ICの建設が始まる（令和5年6月撮影）



提供：山形河川国道事務所

新潟山形南部連絡道路のこれまで

H3年10月	地域高規格幹線道路構想発表（建設省）
11月	仙台・新潟間高速道路建設促進推進協議会設立総会
H5年5月	仙台・新潟地域高規格幹線道路建設実現期成同盟会（仮称）設立準備会（小国会場）新潟9市町村、山形8市町参加
同	仙台・新潟を結ぶ置賜・岩船間地域高規格道路（仮称）建設実現期成同盟会設立総会
H6年12月	地域高規格道路「新潟山形南部連絡道路」として「計画路線」の指定を受ける
H7年3月	「赤湯バイパス」新規着工決定7.2km
H7年4月	地域高規格道路の整備区間指定 南陽市・高畠町「赤湯バイパス」7.2km
8月	地域高規格道路の調査区間指定 新潟県関川村「鷹ノ巣道路」5.0km
H8年8月	地域高規格道路の調査区間指定 新潟県荒川町（現村上市）「荒川道路」3.6km
同	地域高規格道路の整備区間指定 新潟県関川村「鷹ノ巣道路」5.0km
H11年12月	地域高規格道路の調査区間指定 長井市・南陽市「梨郷道路」7.2km
同	地域高規格道路の整備区間指定 新潟県荒川町（現村上市）「荒川道路」3.6km
同	地域高規格道路の調査区間指定 新潟県関川村・小国町「小国道路」約12km
H13年3月	シンボルマーク完成 49人91点応募
H14年3月	「鷹ノ巣道路」工事着手
同	「荒川道路」着手準備から新規事業化へ移行
H21年3月	「荒川道路」開通式3.6km全線供用開始
同	「赤湯バイパス」開通式7.2km全線供用開始
同	地域高規格道路の整備区間指定 長井市・南陽市「梨郷道路」7.2km
H21年4月	「梨郷道路」工事着手
H26年3月	小国道路の計画段階評価に向けた調査への格上げ
H27年3月	新潟山形南部連絡道路「関川・小国間」早期実現推進小国町協力会設立総会
H27年3月	「小国道路」の計画段階評価着手決定約12km

現在の整備状況

新山道は日本海沿岸東北自動車道荒川胎内IC（インターチェンジ）と東北中央自動車道南陽高畠ICを結ぶ延長約80kmの高規格道路です。

平成6年に「計画路線」として指定され、平成21年3月には「荒川道路」3.6kmと

「赤湯バイパス」7.2kmの供用が開始されました。また、今年度中に「梨郷道路」7.2kmが開通予定となっています。

現在、「鷹ノ巣道路」の整備が進んでおり、今年8月には「小国く飯豊」間が、10月には関川村「片貝く金丸」間がそれぞれ早期事業化に向けた概略ルートや構造の検討を進めるための計画段階評価に係る手続きに着手されています。

着実に整備が進むなか、新山道全線開通に対する期待がさらに高まっています。

期待が高まる小国道路

「小国道路」は新潟県関川村金丸地内から本町松岡地内を結ぶ12.7kmの区間です。大宮地内にフル規格のICが整備されるほか、岩井沢地内には南陽方面にのみアクセス可能なハーフICも整備される予定です。

平成11年12月に調査区間に指定され、平成26年度から計画段階評価に着手、平成30年にはルートが示されました。

平成31年3月の事業化決定以降、測量や地質調査、道路設計、用地調査、用地買収等が進められました。そして今年度、本格的に山形県側10.6kmの建設工事に着手され、11月12日、大宮地内で起工式が実施されました。

小国道路は様々な面で、利活用が期待されています。国道113号は新潟県関川村から小国町の区間に迂回路

はなく、令和4年8月の豪雨の際に飯豊町側、新潟県側どちらも通行止めとなったため、本町は一時孤立状態となりました。小国道路をはじめとした新山道が整備されることにより、迂回路が確保され、このような災害や事故等による地域が孤立する危険性を軽減することができそうです。

また、岩井沢地内に整備予定のハーフICを活用することにより、小国町立病院から公立置賜総合病院へ患者を迅速に移送できるようになります。救急医療の強化や、高度な医療を受けやすくなるなど、より安心・安全な生活が可能になります。

経済面においても、物流のダブルネットワークが確保され、安定した物流が実現するとともに、沿線地域が連携し誘客イベントや観光振興を進めることにより、広域的な観光客誘致が見込まれています。

光客誘致が見込まれています。



▲「小国道路」山形県側起工式

9月 「小国道路」の計画検討に関する第1回意見聴取
H28年7月 新潟山形南部連絡道路「関川く小国間」
早期実現推進関川村協力会設立総会
H30年7月 新潟山形南部連絡道路「飯豊町区間」
早期実現推進飯豊町協力会設立総会
H31年3月 「小国道路」が新規事業採択時評価手続きに着手
同 「小国道路」の新規事業化決定
新潟県関川村く小国町12.7km
R22年2月 「梨郷道路」の開通見通し公表（令和5年度開通）
R5年8月 新潟山形南部連絡道路（小国く飯豊）計画段階評価（1回目）に着手
10月 新潟山形南部連絡道路（片貝く金丸）計画段階評価（1回目）に着手
同 新潟山形南部連絡道路（小国く飯豊）の道路計画検討に関する第1回アンケート調査実施
11月 「小国道路」山形県側起工式
提供：新潟山形南部連絡道路整備促進期成同盟会事務局

新山道のこれから

新山道について、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所の森田裕介事務所長は「新潟山形南部連絡道路は、日本海沿岸東北自動車道と東北中央自動車道等と一体となつて広域道路ネットワークを形成する非常に重要な路線です。」

新潟山形南部連絡道路をはじめとする高規格道路が整備されると広域的な人流・物流の効率化が見込まれるほか、速達性、定時性の確保、災害時の広域迂回の解消により、信頼性の高い道路ネットワークが確保されます。これらのメリットを活かした観光や地



山形河川国道事務所
森田裕介事務所長

域経済の発展などの整備効果が十分に発揮されるためには、高規格道路をどのように活用していくのか、地域の方々も一緒になって考えていただくことが重要です。

現在、荒川道路、赤湯バイパスの約11kmが開通済み、鷹ノ巣道路、梨郷道路、小国道路の約25kmが事業中です。梨郷道路においては今年度中の開通を目標として整備を進めています。また、小国道路は、山形側において本格的に工事に着手する運びとなり、11月12日に起工式を執り行ったところ。さらに、山形県側の「小国く飯豊」間および新潟県側の「片貝く金丸」間においては、概略ルート・構造等の検討を行う計画段階評価の手續きに今年度より着手したところです。

小国町をはじめとする地域の活性化や安全・安心の確保のためにも、一日も早い事業完成および調査の促進に努め

てまいりますので、引き続き、地域の皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。」とお話くださいました。

また、国土交通省北陸地方整備局羽越河川国道事務所の澤山雅則事務所長は「山形県置賜地方から新潟県下越地方に通じる国道113号は、明治17年に現在の国道が完成する以前から「越後米沢街道」により両県の物流などの交流が盛んに行われており、古来より両県を結ぶこの路線が重要なことがうかがえます。」

「小国道路」の整備により特別豪雪地帯となっている小国町や関川村における積雪期の雪崩や事故等による交通障害の回避、また新潟・山形両県の日常生活や経済活動だけ



羽越河川国道事務所
澤山雅則事務所長

でなく、更に広域な道路ネットワークとして物流や広域観光の連携支援などの効果が期待されます。また道路が安全で通り易くなるだけでなく沿線の地域や町づくりにとっても重要な事業です。

「小国道路」の整備には、地域のかたがたからも貴重な用地の提供や工事に伴う一時的なご不便をおかけするかもしれないませんが、ご協力よろしくお願いいたします。

今年度から新たな道路計画として、検討段階に入った「小国く飯豊」や「片貝く金丸」につきましても地域の皆様や利用される皆様の意見を参考にしながら事業着手に向けた検討を進めてまいります。

最後に、事業中の小国道路、鷹ノ巣道路なども含め新潟山形南部連絡道路のネットワーク全体について山形河川国道事務所とも連携しながら整備推進に努めてまいりますので、ご理解と、ご協力をよろ

しくお願いいたします。」とお話くださいました。

全線開通に向けて

新山道は救急医療の強化、産業経済の発展、観光交流の促進、災害時の支援等で重要な役割を果たす路線です。

新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会では、地域住民や関係各所とともに新山道の重要性やその早期完成について要望活動を重ねてきました。こうした活動や地域の皆さんの熱意が小国道路をはじめとする、新山道の整備促進に結びついています。

町では引き続き、小国道路の建設促進や新山道全線開通の実現を目指して要望活動を続けるとともに、住民大会等を通して、整備促進に対する地域の声を発信していきます。また、道路の整備効果が十分に発揮されるよう、取り組んでいきます。

置賜地域道路整備促進大会（令和5年10月2日）

意見発表 小国町立病院 看護部長 日下雅美さん



小国町立病院は病床数45床の小さな病院ですが、医療機関が少ない当町にとって、町民の健康で安心な生活を守るため、当院の果たすべき役割は極めて大きいと考えます。状況によっては専門医のいる公立置賜総合病院に急病の患者さんを移送しなければならないケースも多くあり、緊急車両による患者さんの移送には国道113号を利用しなければなりません。

国道113号は新潟県関川村から飯豊町手ノ子の間にあっては迂回路がなく、町外へ通じている唯一の国道であることから、豪雪を始め、近年全国各地で発生している豪雨や地震など、大規模な自然災害等により通行不能となった場合、小国町民の尊い命が道路事情で失われる恐れがあり、私たち医療に携わる者にとって大きな不安となっています。

「新潟山形南部連絡道路」はまさに「命の道」であることを訴えたいと思います。この道路の早期実現は、私たち医療に携わる者だけでなく、地域住民にとっても切実な願いです。

新潟山形南部連絡道路建設促進期成同盟会住民大会関川大会（令和5年10月21日）

意見発表 クアーズテック(株)小国事業所 加藤孝則さん

小国町では国道113号が唯一の幹線道路であり、また、他に迂回路がないことから物流および従業員の交通インフラは全て国道113号に頼らざるを得ない状況であります。

昨年発生した豪雨災害では、従業員の帰宅困難者が発生し、また物流面での停滞影響も懸念されました。幸いにも国道113号が比較的早めに復旧されたことから、影響は最小限で留まったものの、復旧が長引いていけば、人的・物的な面において多大な影響が出ることは想像に難くありません。製品の品質やコストは企業の努力によって解決することは可能ですが、物流の要となる道路の整備については一企業で解決することはできません。

沿線住民のかたがたや、利用する企業及び団体との連携を強化し、道路整備に対する運動をさらに高めていくことが重要であると考えており、国道113号の整備促進と合わせ、新潟山形南部連絡道路の全線が一刻も早く完成することを強く切望します。

